



子どもの成長は振り子のよう

校長 大谷 京司

周囲の新緑が深い緑に変わり、梅雨の恵みをもとに作物も大きく成長しています。たけのこ掘りの時に見つけたカブトムシの幼虫も蛹へと変化していきました。

子どもたちも1学期のいろいろな行事や縦割りグループでの活動などを通して、日々大きく成長しています。同時に思春期を迎える子どもたちの心の変化も感じています。

今から15年ほど前、世界的な昔話研究者の小澤俊夫さん(実弟は世界的指揮者の小澤征爾さん)主宰のさがみ昔話大学を3年間に渡り受講したときのことを思い出します。グリム童話の「灰かぶり」(シンデレラ)は、継母とその子どもたちにいじめられ、灰にまみれて汚い服をまとう醜い姿と華麗なドレスを着て舞踏会で美しく舞う姿を3度繰り返し、最後は王子とめでたく結ばれるというお話です。小澤先生は、この醜い姿と美しい姿を行ったり来たりする振り子のような現象こそ思春期の子どもたちの心の動きと重なると言われていました。醜い姿を見せ親や大人に反抗する時期もありますが、そのまま飛んで行ってしまうのではなく、また本来の美しい姿を見せるのだから、あせらず見守り美しい姿で戻ってきた時にしっかりと認めてあげることが必要だと言われていたと記憶しています。夏休みを控え、子どもたちが一回りも二回りも成長する時期、私たちもあせらずしっかりと子どもたちを見守っていきたいと思います。



田植え



6月7日(水)、多くの保護者の皆様にもお手伝いいただき、今年も田植えを実施することができました。今年度は、うるち米「はるみ」の苗をJAあつぎから分けていただき、全員いっせいに植えていきました。

ぬるっと足が泥にはまってしまう感触をや苗をしっかりと植えこむ難しさなどを体全体で感じながら、20cmずつみんなで前

に進んでいきました。

すべて植え終わった後、初夏のような風を感じながら、ティータイムのおやつを頬張る子どもたちの姿はとても清々しく感じられました。また、園児たちの足洗いなどを手伝ってくれている様子も見られお兄さんお姉さんぶりも発揮してくれました。

お忙しい中、お手つだいに参加してくださいました保護者の皆様、ありがとうございました。



イングリッシュデー

“What would you like?” “I would like hot chocolate.”
店員さんとお客さんのやり取りの1コマです。高学年が中心になって今年度のイングリッシュデーはパスポートを手に3か国の国々を回りながら、買い物をしたり、仕事をしてお金儲けをしたりする企画を考え実践しました。行きたい国の買い物をするにはその国の通貨が必要なので、両替をする必要もあり、難



しい面もありましたが、だんだんと慣れてくるとどんどん自分から積極的に国を回って買い物をしたり、店員として働いてお金を稼いだりすることに夢中になって楽しんでいました。スモアやパンケーキを実際に食べたり、きれいに作られたしおりやミニ国旗などの買い物を実際にできたりしたことも魅力だったようです。



じゃがいも 大収穫！

3月に植えたじゃがいも。今年は大収穫です。種類は、「男爵」、「キタアカリ」、「メイクイン」の3つです。すでに給食でも提供されていますが、ファミリーフェスタでも子どもたちが値付けして、販売する予定です。楽しみにしてください。



体力・運動能力調査

七沢学園の校庭をお借りして、全学年で「体力・運動能力調査」の50m走及びソフトボール投げを実施しました。各自、自分の目標に



近づけるよう精一杯力を出し切っていました。

最後は、みんなで鬼ごっこをして思い切り広い校庭を走り回りました。

水泳学習

今年度は伊勢原スイミングで4回の水泳授業を行います。

3回目の授業では、水難防止の一環として、ペットボトル



を使って体を浮かせる体験を行いました。「浮いて待つ」の原則を常に意識してほしいです。

1・2年生 劇団風の子による「とかとか」鑑賞



七沢幼稚園の家庭教育学級でお招きした「劇団風の子」の演劇を1・2年生も鑑賞させていただきました。新聞紙や段ボール箱、傘といった日常の物を使って面白おかしく繰り広げられる動きやせりふに、子どもたちも身を乗り出して夢中になって楽しんでいました。

